

祝！新成人 稲沢市 1,327人

男性 677人 女性 650人 (平成5年4月2日～平成6年4月1日生まれ)

■県の新年度予算編成・・・民主党重点事業等調査研究会から



ESDイヤーキックオフイベントが1月13日開催、11月に閣僚級会議が愛知・名古屋で開かれます。(Education for Sustainable Development: 持続可能な社会を支える担い手づくり)

県の新年度予算の重点事業等について、初日の1月10日に知事政策局・総務部、県民生活部・防災局、14日に警察本部、教育委員会、農林水産部、15日に建設部、健康福祉部・病院事業庁、16日に産業労働部、企業庁、地域振興部、環境部と各部局から説明(質疑含む)を受けました。

【平成26年度財政状況の試算

—県税 6年ぶり 1兆円台でも収支不足 900億円—
 新年度の財政見通しは円安による輸出企業の業績回復等(法人2税 2,244億円→3,200億円)や地方消費税

の増収(1,444億円→2,000億円、但し実質の増収は200億円程度)を受け県税収入は25年度当初予算9,200億円から17%増の1兆800億円と試算。しかし増収に伴う地方交付税等の減(800億円)や基金の活用見合せ等で現時点の歳入は2兆2,400億円。一方、職員の給与抑制解除等で80億、医療・福祉関係の扶助費が5.3%、120億円の増等で歳出は2兆3,300億円となり現時点では900億円の収支不足となっています。ただ、平成20年秋のリーマンショック以降の税収の落ち込み、収支不足は確実に回復してきています(右表)。

新年度予算試算時の収支不足の状況

新年度の試算	収支不足額	県税収入額
H20	-600	13,600(以下対前年度増減)
H21	-4,900	9,700(-3,900)
H22	-2,800	8,600(-1,100)
H24	-1,800	8,700(+100)
H25	-1,600	9,100(+400)
H26(今回)	-900	10,800(+1,700)

※H23は骨格予算(知事選)のため略(単位:億円)

個人県民税減税

大村知事は平成26年度の個人県民税の実施を表明し、新年度からの基金積み立てを目指していますが、公約の10%減税には350億円が必要となり、今回の60億円の仮置き(行革の年60億円の目標額分)は効果、制度が明らかにされないままの見切り発車であり予算



【重点事業等・・・試算中であり予算額・内容等は未確定です】

●次期行革大綱策定費・・・0.04億円 総務部

県政初の赤字決算となった平成11年度から、厳しい財政状況に対応するため累次にわたる行革大綱のもと6千億円に上る行革効果を生み出してきたが、現行の愛知県第5次行革大綱の期間(平成26年度まで)終了後も、引き続き行財政改革に全力で取り組んでいくこととし26年度中に次期行革大綱(計画期間27～31年度までの5年間)を策定する。

1月16日交通安全県民大会に警察委員長として参加しました。スローガンは「ストップ・ザ交通事故～高めようモラル守ろうルール～」

●あいちビジョン推進費・・・0.22億円 知事政策局

今年度策定する、2027年のリニアの開業後の2030年の社会経済を展望し2020年を目標とする「あいちビジョン2020～日本一の元気を暮らしの豊かさに～」を推進するために、年次レポートとして3か年の実施計画の作成、PR等。



●女性の活躍推進事業費・・・0.15億円 県民生活部

県政初の女性副知事・吉本副知事の誕生を契機に、定着と活躍をキーワードに部局横断的にあいち女性の活躍促進プロジェクトを展開。県民生活部では、あいち女性の活躍促進会議(仮称)の開催、女性の活躍状況の見える化事業等女性の活躍=経営戦略であるとする等の意識改革や女性のキャリアアップ及び再就職支援等の事業を展開。

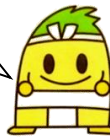
STEP 21 県政 REPORT



民主党県議団 すずき純

鈴木じゅん事務所 〒492-8229 稲沢市稲島11-24 1401
 Tel 24-6600 Fax 23-0791 juneri@na.commufajp

愛知県・稲沢市総合防災訓練
ありがとうございました。



●**県総ぐるみ防災訓練推進事業費**・・・0.02 億円 防災局

昨年稲沢市で実施した県の総合防災訓練を新年度は、10月27日(月)に名古屋市と共催。今回は交通機関が途絶した状況を想定し主要駅周辺の帰宅困難者対策を含む都市型の防災訓練を実施。また、目標の15万人に対し26万人の参加表明を得るとともに、多くのメディアに取り上げられ防災意識の喚起に役だったシェイクアウト訓練も継続して9月1日(月)正午に実施。

●**交通安全施設整備費**・・・60.24 億円 警察本部

平成25年の交通事故死者数は219人と前年より16人減少したものの11年連続で全国最多の現状を改善するため、ゾーン30等による歩行者の安全確保、道路標識、道路表示、信号機などに更新整備を進めるほか、災害に強く環境に配慮した電池式電源深装置の設置等を進める。

昨年の刑法犯の発生状況

平成25年の刑法犯の認知件数は約9万6,800件と平成27年までに10万件以下とする目標を2年早く達成することが出来ました。

ようやく待機寮の整備検討に着手

(民間資金導入可能性調査) 常時警戒、有事即応のために県内53施設の待機寮に警察官約1,100人が入寮、85%以上が築30年を経過し、入寮者が100%を超える寮が半数、6畳に2人が生活するという状況です。



●**県立学校耐震改修費**・・・83.08 億円 教育委員会

第2次あいち地震対策アクションプランに基づき平成27年度までに県立高校・特別支援学校の耐震化完了に向けた取組。新年度は改修工事69校96棟、先行設計42校53棟を予定、26年度の耐震化率は高校90.5%、特別99.5%となる見込み。

教育、農林水産業についての国の動向等

国における教育改革の動き

政府は教育再生実行会議からの提言等を踏まえ様々な教育改革を推進の方向。

●教育委員会制度のあり方では委員会を首長の執行機関、教育長を首長の補助機関とするなど首長の権限強化の方向。

●道徳の教科化の検討では小中学校で道徳を「特別の教科 道徳」とし検定教科書の導入等の方向。

●グローバル化に対応した英語教育改革のあり方の検討では小3から外国語活動として英語教育を開始、5・6年は教科化、中学では高校と同様に英語の授業は英語で行う等の方向。

農林水産業・地域の活力創造プラン

昨年12月に農林水産業・地域の活力創造本部は強い農林水産業―所得を10年間で倍増―等に向けた4本柱のプランを決定。

●農地中間管理事業では10年後に担い手が利用する農地面積を全農地の8割(現状5割)に拡大するため、県単位に農地中間管理機構を整備し活用するもの。

●日本型直接支払(多面的機能支払)では農地・水保全管理支払を農業者のみでも対応できる農地維持支払と地域住民とを対象とする資源向上支払いに拡充・組替。

●**県産農林水産物消費拡大対策費**・・・1.82 億円 農林水産部

6次産業化支援事業費1.56億円、タイバンコクでの愛知フェアの開催等4百万円、花の王国あいち需要拡大推進事業負担金7百万円、フラワー・ガーデニングショー(仮称)開催費負担金5百万円等。

●**都市緑化推進事業費**・・・9.1 億円 建設部

身近な緑づくり事業に限度額を引上げ公共施設の屋上緑化など緑化施設も対象に追加等。愛知万博10周年となる平成27年9月12日から11月8日に愛・地球博記念公園を中心に開催される「**全国都市緑化あいちフェア**」のPR等。

●**地域包括ケア推進費**・・・0.48 億円 地域振興部

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、医療、介護、予防、生活支援サービス、住まいを切れ目なく提供する地域包括ケアシステムの構築を目指し市町村の取組を推進するための先導的なモデル事業(3年継続)を実施等。

●**技能五輪・アビリンピックあいち大会2014**

いよいよ11/28(金)~12/1(月)に愛知県体育館等で技能五輪全国大会、11/21(金)~23(日)に名古屋市国際展示場等で全国アビリンピック開催。



●**スポーツ活用型地域活性化事業費**・・・0.08 億円 地域振興部

新城ラリー、マラソフェスティバルナゴヤ・愛知に加え**アイアンマン 10.3 セントレア知多・常滑ジャパン**も対象にトレイルランニングやウルトラマラソン等も検討。スポーツコミッションの設立を目指す。

●**持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議支援事業**・・・2.89 億円 環境部

会議支援、子ども会議、市町村ESDシンポ等を通じ「**持続可能な社会を支える人づくり**」を推進。

イベント

20日 **あいち消防団の日**

2月6日大鏡餅つき(平和奉賛会)

12日尾張大國霊神社鎌倉神事(国府宮はだか祭り)

15日稲沢市社会福祉大会

19日愛知県議会2月定例会開会

STEP21



連合愛知新春交礼会



各団体の新年会、旗開きが開催されました。

新年明けましておめでとうございます。

させるためとの事ですが、支部長会、総会で十分な審議を頂かないまま早くも来年の統一地方選公認の記事が出てしまい申し訳ありません。千里の道も一歩から、地に足を付けて **未来へつづくまちづくり**へ 本年も宜しくお願いします。 愛知県議会議員 **鈴木じゅん**